

平成20年度 事業評価シート

事業名	各種団体への支援業務		事業類型区分	1	市民サービス(独自)
所管部課名	部名 教育委員会	課名 文化体育振興課	係名 社会教育係		

事業の位置付け

総合計画・施策分類	区分	章	節	施策	
	主	第4章 心がふれあうまちづくり	第4節 社会教育を充実する	(1) 生涯学習社会の実現	
	関連する位置				
法的根拠	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	社会教育法 第3章 社会教育関係団体 第10条 社会教育関係団体の定義等 第2章 社会教育主事 第9条の3 社会教育主事の職務 城陽市社会教育活動事業費補助金交付要綱			
関連する計画等	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし				
市長公約等	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし				
事業期間	開始		終期設定(終了予定)		
	<input checked="" type="radio"/> 昭和	<input type="radio"/> 平成	年度	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> なし	
事業主体	<input type="radio"/> 市	<input type="radio"/> 国	<input type="radio"/> 府	<input type="radio"/> 民間	<input type="radio"/> その他 ()

事業の概要

事業目的 (だれを、どのような状態にしたいのか、どのような効果を得ようとしているのか)	社会教育関係団体に対して、その事業活動に支援を行い、また事業に要する経費の一部について補助金を交付することにより、団体の活動の活性化による社会教育の振興を図る。
事業概要 (事業目的を達成するために、だれに、何を行うのか)	各種補助団体に育成・支援を行う。 城陽市子ども会後援会協議会：支部(単位子ども会)への活動補助金をはじめ、本部が行う活動を支援するとともに、活動事業に補助を行っている。 城陽市女性会：市女性会の活動を支援するとともに、活動事業について補助を行っている。 城陽市PTA連絡協議会：市全体としての事業に(定額)補助を行うこととしているが、17年度以降実施に至っていない。情報の共有など関わりを維持していく。
平成20年度に行う特記事項 (改革・改善内容等)	
事業方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 協働 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 ()
これまでの事業の経緯 (改革・改善等の取組み経過等)	昭和59年8月1日 城陽市社会教育活動事業費補助金交付要綱公布

平成20年度 事業評価シート

事業名	各種団体への支援業務		事業類型区分	1	市民サービス(独自)
所管部課名	部名	課名	係名		
	教育委員会	文化体育振興課	社会教育係		

事業の推移		会計名	一般		会計	
事業量(活動指標)	(a)	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
城陽市子ども会後援会協議会 (本部の活動事業数)		事業	24	24	24	24
城陽市女性会 (活動事業数)		事業	76	75	75	75
城陽市PTA連絡協議会 (補助に対する活動事業数)		事業	0	1	1	1
コスト	(b)	(単位:千円)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
事業費	財源内訳	(A)	1,141	991	991	991
		特定財源	150			
		一般財源	991	991	991	991
正規職員数(人日)			30	30	30	30
正職人件費	(B)		1,238	1,294	1,294	1,294
総事業費	(A)+(B)		2,379	2,285	2,285	2,285

評価指標						
視点	指標名	算式	単位	測定年度	指標値	経年、他市等比較
効果 (事業が果たした効果を示します)	活動事業数		事業	19	100	H16:117、H17:113、H18:102
効率性 (単位当たりコストが基本となります:b/a)	事業あたりコスト	総事業費÷活動事業数 (2,379千円÷100事業)	円	19	23,790	H16:21,402、H17:20,540、H18:21,667

平成20年度 事業評価シート

事業名	各種団体への支援業務		事業類型区分	1	市民サービス(独自)
所管部課名	部名 教育委員会	課名 文化体育振興課	係名 社会教育係		

今後の方向性(改革・改善方向)

<p>前回評価時の改革改善案及び2次評価コメントに対するこれまでの取組内容</p>	<p>子ども後援会協議会 支部(校区)・単位子ども会への種々働きかけを行うにも、役員が毎年度交代では本部組織体制として十分ではないことから、役員の継続しての就任による体制強化を促すとともに、関係機関の広報など機会を捉えて組織活動への参加を呼びかけている。 女性会 支部以外からの参加を促し、広範に会員を募り、組織強化を図られるよう、体制の改革を働きかけ、一定の組織体制整備が図られた。 PTA連絡協議会 生涯学習を推進する学習団体としても、その果たす役割は重要で、学習推進機能を強化してもらうために、相互での情報の共有、事業の連携、共催等を図る取組を継続している。</p>
<p>事業目的を達成する上で課題</p>	<p>子ども後援会協議会 協議会、各支部、単位子ども会共通の課題として、活動の拡充のため、加入促進が求められる。 女性会 会の課題としては、活動の充実・拡大のためにも会員を増やすことが求められる。 PTA連絡協議会 引き続き関わりを維持し、情報の提供、共有化を図る必要がある。</p>
<p>今後の改革改善案</p>	<p>子ども後援会協議会 各支部・単位子ども会の運営においては弾力的な運用が必要であり、それをバックアップする自治会等、地域ぐるみで検討する視点が大切となり、今後も指導・助言を行う。 女性会 会員を増やし、より充実した活動が展開されるよう今後も、支援していく。 PTA連絡協議会 学習機能を円滑にしてもらうためにも、情報の提供・連携・事業の共催等が大切であり、関わりを持つ中でニーズを把握し、よりよい事業のあり方をともに検討していく。</p>

今後の方向性(総合評価)

1次評価 (各部評価)	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事務見直し	<p>理由</p> <p>支援団体の活動の活性化のため今後も育成、支援を継続するとともに、活動事業について補助を引き続き行う。</p>
	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事務見直し	<p>コメント</p> <p>支援団体の活動充実及び啓発などを支援し、課題改善に取り組み、事業を継続する。</p>
次期評価時期		平成 23 年度

別途添付資料 (評価の内容を具体的に示す資料等を添付する)